

# 2. 立山あおぐ特等席 コース

立山を仰ぎ見て、自然と街をつなぐコースです。

**コース** 約12km 約3時間



**北代縄文広場**  
縄文時代中期を中心に営まれた大集落跡です。(国指定史跡)



**北代緑地公園**  
四季折々の花が楽しめる木々の中に子供達の遊具やパークゴルフ場、ピオトープを整備。人々が緑の中で憩い遊ぶことができる。



**民俗民芸村**  
呉羽丘陵に9つの施設が点在する富山市民俗民芸村。村内には、約300年の伝統にはくまれた富山売薬を紹介する売薬資料館、古い民家に全国の黒で焼かれた陶芸を展示した陶芸館、郷土の水墨画家、犂牛人の記念美術館などがある。



**佐伯有頼像**  
立山連峰を一望できる富山市の呉羽山展望台に、立山を「信仰の山」として開いたとされる佐伯有頼(さえきありより)の少年像が建っている。立山開山1300年を記念して建てられたもので、16歳で立山を開いた有頼にあやかり、有頼少年の立山登山の精神と自然への畏敬(いけい)をよみがえらせたいとの願いが込められている。

毎年6月には、「立山あおぐ特等席ウオーク」が開催されます。